

フルクラウド化のメリット

- *データの共有→教材を教員同士で共有でき、資料の作成時間の短縮が可能。
- *セキュリティの向上→パソコンにデータが残らないので、高い安全性が確保でき、災害にも強い。
- *ペーパーレス→資源の節約、資料の軽量化

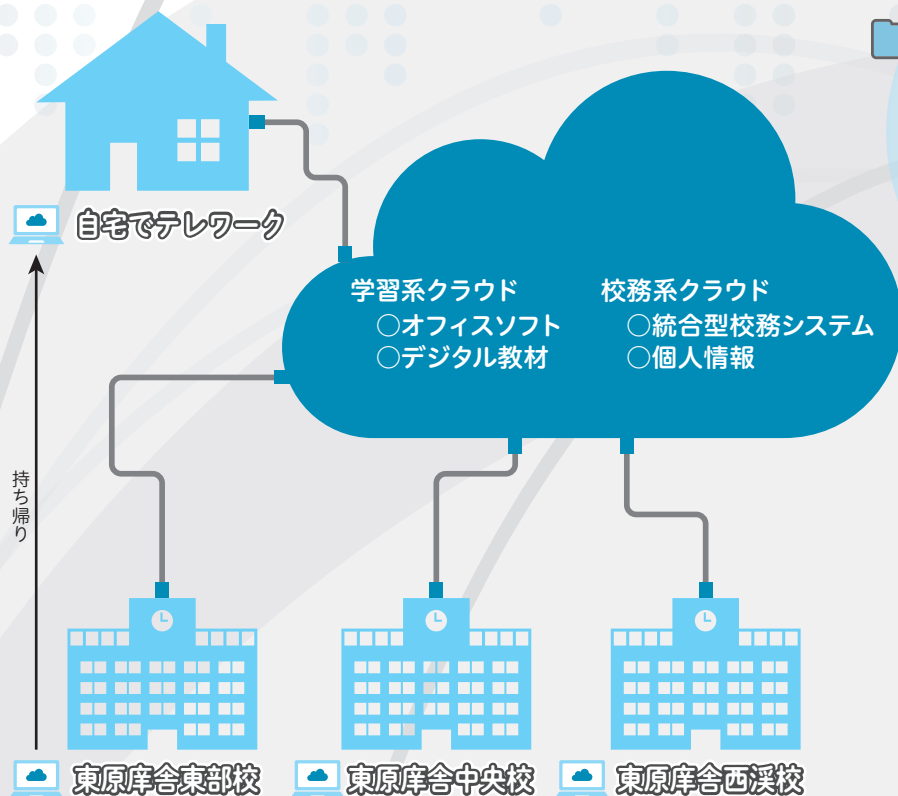
～活用事例～



職員会議での活用



授業での活用



働き方改革で児童・生徒と向き合う時間を増加

フルクラウド化によって、教職員のテレワーク※⁴が可能になりました。そのおかげで、育児や介護など時間に制約がある教職員も作業を職場だけで行うのではなく、自宅や出張先でも行うことができます。自宅などで作業を行う場合は、データが入っていないパソコンから、クラウドにアクセスして作業し、その端末にはデータが残らないので、データを安全に管理できます。

さらに、教材や資料の共有化も可能となり、勤務時間縮減の効果も出ています。

ICT環境を整備することで、業務時間の短縮が図られ、その分教職員は児童・生徒と向き合う時間を増やすことが可能になりました。



▲フルクラウド化によって教職員同士の情報共有も便利になりました

ICTで開く新しい未来

多久市は、児童・生徒のICT教育環境を整えることで、教育の質を向上させていくことを目指しています。

ICTを上手に活用すれば、多久にいながら日本はもちろん、世界と繋がって仕事ができます。児童・生徒がICTに触れる機会を増やすことで、多久に住みながら自分のやりたいことを実現できる可能性が広がります。

児童・生徒の多様な可能性を開き伸ばすため、多久市はこれからもICTを活用した教育に力を入れていきます。



▲タブレット端末を使って実験結果を考察する児童

※⁴ テレワークとは…パソコンなどの情報通信機器を利用し、職場以外の自宅などで任された仕事を行う勤務形態のこと